

国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア

【I'm LESLIE KEE - we are the world.】

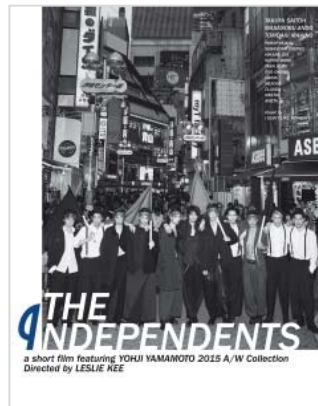
写真家レスリー・キーが紡ぐファッションと映画、アートの新境地

ゲスト：レスリー・キーほか

6月4日（土） 13：30～15：10 会場：表参道ヒルズ スペース オー

国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）では、表参道ヒルズ スペース オーにて、写真家のレスリー・キーさんをゲストに迎えたイベント「I'm LESLIE KEE - we are the world.」を6月4日（土）に開催いたします。

本イベントでは、YOHJI YAMAMOTOのコレクションをフィーチャーした初監督ショートフィルムで斎藤工さんや、安藤政信さんなどの俳優陣に加え、サッカー日本代表の槇野智章さんや世界的ファッションモデルなど、総勢20名のキャストが名を連ねる『THE INDEPENDENTS』、パリのボンピドーセンターで開催された世界最高峰のファッション映画祭にて「ASVOFFでBEAUTY PRIZE AWARD」を受賞した新作『PHANTOM』をプレミア上映します。『PHANTOM』には、尾上松也さん、高岡早紀さん、AyaBambiさん、秋元梢さん、宮城大輝さん、太田光さんなど各界で活躍する方々が出演しているほか、タイで俳優・歌手・モデルとして活躍する、若き国民的スーパースター、ジェームス・ジラユさんも出演しています。カメラマンとして活躍するレスリーのファインダー越しに見える、まだ誰も見たことがない、新しい映画の世界をお届けします。



『THE INDEPENDENTS』



『PHANTOM』



レスリー・キー

シンガポール生まれ。東京ビジュアルアーツ専門学校を卒業後、東京、PARIS、NY、アジア各国で活動。東日本大震災チャリティ写真集『TIFFANY supports LOVE & HOPE by LESLIE KEE』（2012年）が第40回APA経済産業大臣賞を受賞。彼が手掛ける写真とアートマガジンのシリーズ「SUPER」は世界の企業やトップアーティスト、YOHJI YAMAMOTOをはじめとするファッションデザイナーなどと積極的にコラボレーションを仕掛けている。50冊を超える写真集の出版と写真展の開催、100回を超えるトークショーは電通をはじめとした企業からのオファーも多い。昨年9月に発表した初監督ショートムービー「THE INDEPENDENTS」が2015 ASVOFFのコンペティション作品にノミネートされ、BEAUTY PRIZE AWARDを受賞。彼自身が発するメッセージやTwitter、Facebook、Instagramは国内外で注目を集めている。

タイトル：【I'm LESLIE KEE - we are the world.】 写真家レスリー・キーが紡ぐファッションと映画、アートの新境地

ゲスト：レスリー・キーほか

日時：6月4日（土） 13：30～15：10 会場：表参道ヒルズ スペース オー

料金：前売：1500円 当日：1800円（税込）

一般からの問い合わせ先 03-5474-8844

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：高橋（090-3049-1284）〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル4F
TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 e-mail：press@shortshorts.org

『PHANTOM』に関するレスリー・キーさんのコメント

世界中の人々、そして私が愛してやまない芸術の都パリが
2015年11月13日、一瞬にして恐怖の闇に包まれました。
たくさんの夢とインスピレーションを私に与えてくれたパリに対して「恐怖」を覚えたのも事実です。

今回の痛ましい出来事が一つのきっかけとなり、私はあることを考えるようになりました。
いま目の前で起きている出来事は、もしかしたら1分1秒自分自身の中で起こっている。
それは人間であれば誰にでも。

- 誰でも、どこでも、いつでも、夢を追いかけて掴もうとしている —
- 誰でも、どこでも、いつでも、恐怖に怯えている —
- 誰でも、どこでも、いつでも、幻想を妄想し、現実に従っている —

夢を掴もうとする中で、人間は恐怖にぶつかり、恐怖の中で夢を探して生きている。
私も「夢」「恐怖」「幻想」の中で生きています。

このショートムービーは、答えのない人生のようなストーリー。
パリ、東京、台北、バンコク、上海
言葉や国籍、文化や価値観が違う5つの都市の若者たちが、過去、現在、未来という時間の中で
それぞれどんな「夢」「恐怖」「幻想」を抱きながら生きているのか。

私はこの映画のキーワードとなる「夢」「恐怖」「幻想」を赤白青の色で表現しました。
それはまさにパリの色です。

LESLIE KEE FILMS